

## 東北電力女川原発2号機点検不備4千件

東北電力は2月4日東日本大震災後実施の女川原発2号機の設備点検で、記録の不備4188件が見つかったと発表。207件は構造的に存在しない部位を点検したと記載。各種配管・弁に関するものが多く、型式が異なるのに同じ様式の点検書類を使ったために起きたという。機器に不具合があった場合原因を分析して補修する「不適合管理」の不徹底が137件。

その他3844件は点検記録を訂正する際の日付や理由などの記載漏れ、機器の型式や製造番号の入力ミスなど。女川原発の設備健全性確認の点検記録をめぐっては昨年9月にも不備が見つかり、原子力規制委員会が同10月に保安規定違反と判定。東北電力が点検を始めた2011年8月以降の全記録を再確認していた。[河北新報2月5日版]

## 蒲生を守る会の木村フジ・モモさん親子から寄付金

夜明けが大分早くなりましたが、庭にはまだ雪が残っており、本当の春が待たれます。

お便りありがとうございました。「蒲生を守る会」は今年4月46年目に入ります。母は6月103歳に、介護の私も来春80歳になります。もう何も出来なくなりましたが、「守る会」の連絡先だけは引き受けています。

広幡さんのご家族が蒲生の自然観察会にいらして下さってから、もう30年近くになるのですね。あの時小学生だった方のお子さんが「きらきら発電」の名付親とは、年月の流れを思い感慨無量です。原発の再稼働を止め、自然エネルギー発電の運動を広げることが、未来をきらきら輝かせ、戦争のない平和な社会をつくる礎になると思います。母と相談した結果、会に入ることは無理ですが、わずかのカンパをお送りすることに致しました。

大震災以来一度も蒲生に行っていないので、皆の話や報道写真などで想像するばかり、一喜一憂しています。まだまだ寒い日が続きます。お身体に気をつけてお元気にお過ごしください。よう、母がくれぐれもよろしくと申して居ります。

2月16日 木村 モモ

## 河原田和夫先生も基金申し込み

＝70年前私は「小1年」でした＝

平和館診療所、耳鼻科校医 河原田 和夫

1945年塩尻国民学校(当時)1年生でした。戦争(太平洋戦争あるいは第二次世界大戦とよばれた)が続いており生活することそのものが大変、「若木の皮」をむいて食べておりました。子らは私をふくめみな「やせおとろえ」ておりました。

「ほねかわすじえもん(骨皮筋衛門)とよばれ、からかわれたこともありました。そして「アメリカ軍戦闘機爆撃」があり、いつも「逃げまわっていた」ような気がします。登校した記憶がないのは、しかたがないですね。

子供心に「なんで戦争したのか」気にしておりましたが、のちに「お金」のためだったことがわかり、こうした「動き」にならないように、「医の道」まっしぐら、歩むことになりました。

### 農民連新聞「農民」への投書

君、国売りたまふことなかれ  
三代続きの君なれば  
親の情けはまさりしも  
詭弁・強弁・ウソ重ね  
民を騙せと教えしや  
食まで米国に明け渡せよとて  
六十までを育てしや

安倍晋三様

## きらきら発電法人結成記念

# 4月18日学習講演会

4月18日(土)午後3時半～5時半、仙台市民活動サポートセンター4F第5研修室(仙台市青葉区一番町4-1-3、電話212-3010)にてNPO法人結成記念講演会を開催します。講師は2月1日太陽光発電所を開始した「市民共同かわさき発電所」代表の川岸卓哉弁護士(川崎合同法律事務所所属)。

市民共同かわさき発電所は、きらきら発電と同様無利息の基金を集めて市民発電所を開設。先輩格神奈川県川崎市の取り組みを学ぶ企画です。参加費は無料。会員ならびに自然エネルギー発電に興味をお持ちの方の参加をお待ちしています。なお講演会終了後懇親会を開きます。参加費3000円、参加希望者は事務局までご一報を。



## 映画上映会「シェーナウの思い」

この映画は、ドイツ南西部、黒い森の中にある小さなまちシェーナウ市の住民グループが、チェルノブイリ原発事故をきっかけに「自然エネルギー社会を子どもたちに」という思いから、ドイツ史上初の「市民の市民による市民のための」電力供給会社を誕生させるまでの軌跡を綴るドキュメンタリーです。2008年制作、上映時間60分。YouTubeで5分程度の短縮版を見れます。

5月20日(水)13時半、泉病院友の会ホールで

映画「シェーナウの思い」の上映会をNPOきらきら発電として5月15日から5月25日の間、県内各地で行うことにしています。泉方面の皆さんを対象にした上映会は泉病院友の会ホールを会場に5月20日(水)午後1時半より行う予定です。

## 資源エネルギー庁の許可出る

一月二十六日資源エネルギー庁の許可があり、若林区井土浜と太白区柳生の二カ所について三十二円(消費税込み三四円五六銭)単価で二十年間売電できることになりました。現在東北電力に契約手続きの申請をしており、四月契約の予定となっています。太陽光発電設置業者については、二月二十七日の第3回理事会において「プロジェクトうさみ」と契約することを決定。契約内容は、太陽光設置費用千七百万・付帯設備費用二百五十万円となっています。

## 講演「放射能汚染地図のこれから」

日本キリスト教団東北教区放射能汚染対策室いづみが四月二十五日午後一時半市民サポートセンター6Fで、NHKETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図」出演の木村真三さんの講演会「放射能汚染地図のこれから」を行います。

## 自然エネルギーシンポ、仙台で開催

ネットワーク自然エネルギーアクションが三月二十四日みやぎ生協文化会館でシンポを開催します。

NPOきらきら発電・市民共同発電所(準)

〒981-3215 仙台市泉区北中山3-17-12

広幡方 電話・FAX022-379-3777

メール=kirakirahatuden@outlook.jp

http://kirakirahatuden.com/

News 第5号

2015年3月1日(日)